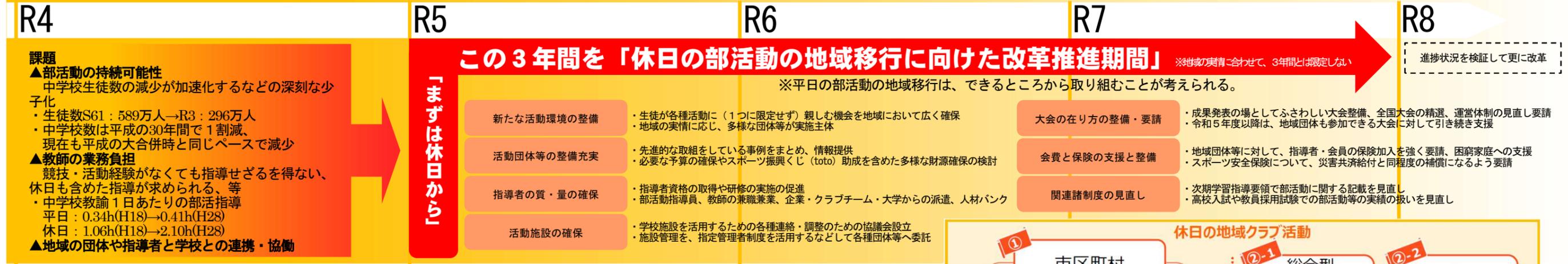


# 大仙市 部活動地域移行ビジョン

**目指す姿** ○少子化の中でも子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保  
 →子どもたちは、自発的な参画の中で「楽しさ」「喜び」を感じ、それが自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創りにつながる。  
 ○学校の働き方改革の推進  
 →教員は十分な準備の時間を創出することができ、学校教育の質の向上につながる。

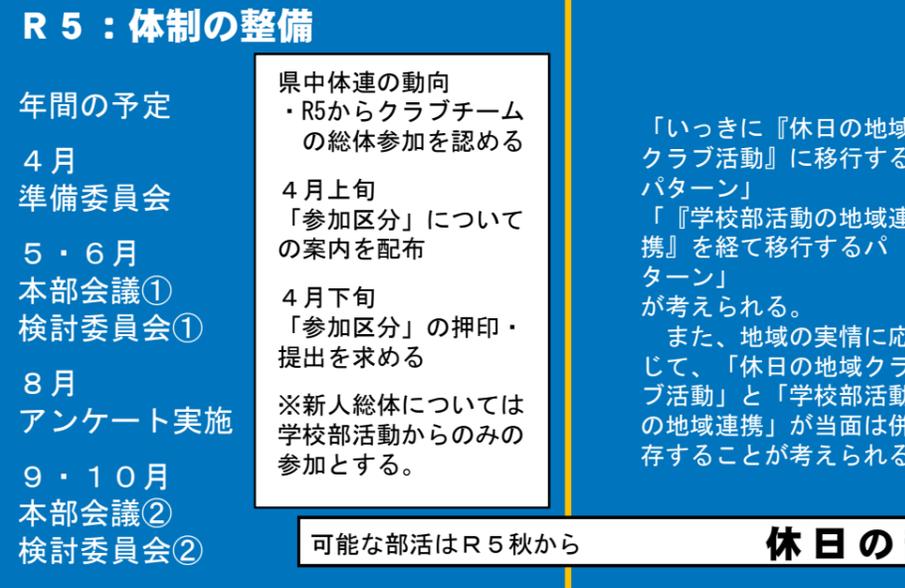
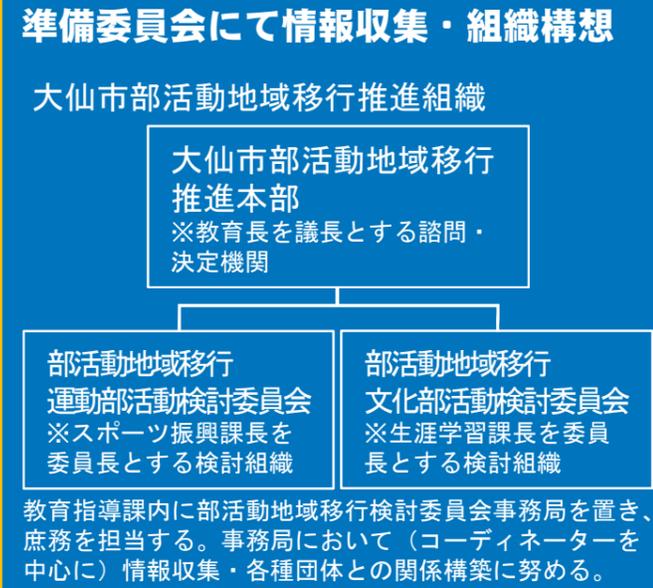
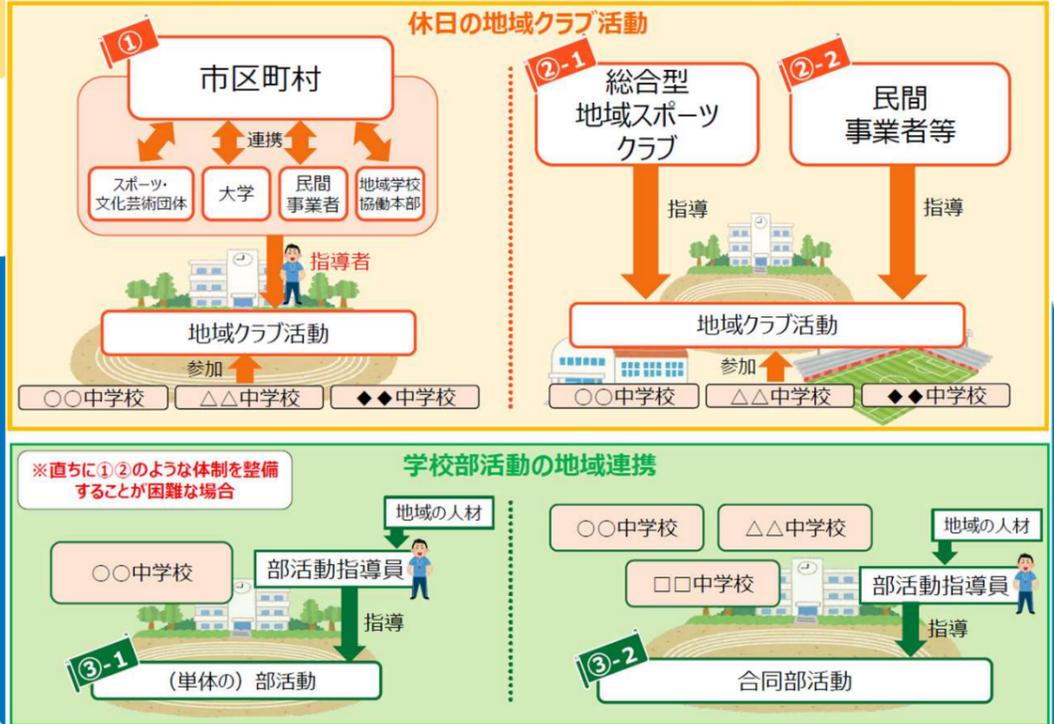
国が示す改革の方向性（スポーツ庁・文化庁提言、R4.12総合的ガイドラインより）



[県の方針] 部活動の適正化（誰にとっても適正なもの）と地域スポーツ環境の整備充実を図る

県が示す課題と対策

- ①指導者確保⇒指導者報酬等への財政支援、人材バンク設置、教員の兼職兼業制度の整備・活用、指導者のための研修制度の構築
- ②受け皿団体と運営資金の確保⇒新たなスポーツ団体等の設立、施設利用等に対する財政支援
- ③家計への負担増⇒経済的に困窮する家庭に対する活動経費等の費用補助



- 受け入れ団体・指導者の確保
- 学校・保護者・地域の理解を求める説明機会の充実

R6：30%以上の移行を目指す | R7：100%移行（夏の段階で60%、年度末100%整備）

